

【正解は高藤直寿選手】平成25年9月には市長特別賞も受賞され、本年6月には市内に後援会が設立しました。

小規模特認校による

取り組みを紹介します

（少ない人数だからこそ誰もが主役になれる）

細谷小学校

■ 問い合わせ先

細谷小学校 ☎(52) 1133



○ 教育目標

「豊かな創造力と強い実践意欲をもち、自己実現する子の育成」

○ めざす児童像

- 1 自ら学ぶ子
- 2 思いやりのある子
- 3 健康で、働く子

- 学校長 上野 一成
- 児童数 30名
- 学級数 4クラス
- 職員数 13名
- 所在地 下野市細谷693番地

日々の授業では、細かい見取りを行い、一人一人の確実な成長を目指します

困ったときにはいつでも先生がいます。少ない人数だからこそ、教師の目が行き届きます。教え込む指導ではなく、温かく見守る指導を行います。

英語活動も充実しています。わくわくタイムには、ALTさんと一緒に歌やゲームをして英語に親しんでいます。



道徳の授業



ALTとの英語活動

※ALTとは英語の授業で日本人教師を補助する外国語指導助手のことをいいます。

たくさんの体験を通して、心の成長を育みます



オカリナの演奏



お琴教室

「オカリナ演奏」や「琴の演奏」などの活動を教育課程に位置づけ練習をしています。オカリナは、練習の成果を下野市学校音楽祭や、老人福祉施設などでも発表しています。また、草花等の栽培活動も行い、体験を通すことで確かな学びや心の成長を促します。

日々の縦割り班活動を通して、自己有用感を育てます

活動の中心は縦割り班活動で行います。わくわくタイム（昼休み）や全校校外活動などでも縦割り班で活動し、上級生から下級生へ細谷小の伝統を受け継いでいきます。下級生は、上級生の優しさやがんばりを、目を輝かせて見えています。



わくわくタイムでの共遊



学校祭での群読



Check!

○小規模特認校制度を活用して、現在5名の児童が在籍しています。

○いつでも見学できますので、事前にご連絡ください。

○11月8日(土)に学校祭を開催しますので、ぜひご来校ください。

小規模特認校とは

通常、児童の通う学校は、教育委員会が定めた通学区域により指定されています。

小規模特認校とはその通学区域を広げ、地域との交流や自然とのふれあい等、特色ある教育環境の中で、子どもを学ばせたいという保護者、学びたいという児童に対し、一定の条件のもと、市内全域から特別に入学・転入学を認め、児童数の増加を図るものです。